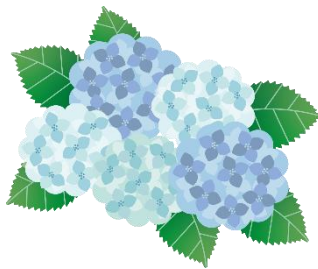


不二速報



静岡：内線 2790

suu@jade.dti.ne.jp

浜松：内線 3910

suu-seibu@vcs.wbs.ne.jp

組合 HP：

<http://shizudai-union.net/>

発行日 2025 年 6 月 23 日

第 1 号 2025 年度執行部紹介 【全教職員配布】

2025 年度 組合執行委員からのご挨拶です

執行委員長 伊藤 宏二(教育学部支部)



今年度執行委員長を務めさせていただきます、教育学部社会科教育の伊藤宏二と申します。専門は西洋近世史、世界史教育です。2期連続となる執行委員は今回で3度目ですが、もちろん執行委員長は初めてとなります。まだまだ不慣れなところも多いですが、皆さんのお力を借りながら頑張りたいと思います。本原稿執筆中に、前年度執行委員長の川瀬先生の訃報が届きました。これからいろいろと教えて頂こうと思っていた矢先の出来事で大変ショックを受けましたが、この場を借りて哀悼の意を述べさせて頂くことをお許し下さい。

堅実で熟慮に満ちた川瀬先生と比べられるとどうしても不安を覚えますが、本年度委員長として簡単に抱負を述べさせて頂きます。昨年度の挨拶の際にも同じことを言わせてもらいましたが、組合は被雇用者にとってなくてはならない大切な組織ではありながら、最近の職員逡減や多忙化の中で、手が回らない人が増え、メンバーが固定化して負担が偏ったりなど、組合に参加することでむしろ不公平感を感じさせられ、精力的に関わった人であるほど脱会者が増えるような構造的な危機に直面し、組合自体の存続が危うくなっていると感じております。

そこで、組合員自身が損をしたと感じることのないような組合、それを目指していきたいと思います。そこから一歩さらに進んで得をする、楽しめる、までいければ理想です。まずは身近なところからできることとして、次年度以降のために組合役職者の負担を減じるための措置を講じていたり、コロナで停滞してしまった対面交流の場を再度活性化させるために、懇親会や教研集会など再開していきたいと考えております。また、団体交渉の時などにも、教職員全体への待遇改善が難しい場合は、はっきりと組合員だけでも実現してもらえるよう要求を伝えていこうと考えております。私自身「家族が一番」主義者なので、「身内を優先する組合」の色を明確に出していきたいと考えております。その他のご意見やアイデア等も含め、皆さんからのご協力を賜れますようお願い申し上げます。

幸い今年度の執行部には(私自身はともかく…)若いメンバーが集まりましたので、明るく楽しく活動を盛り上げていきたいと思っています。とにかく組合で活動することが重いだの、負担だというイメージを払拭し、実際に楽しい場にしていきたいのです。組合を未来に残し、未来を描くためのものにするため、「我々自身の若さゆえの過ちというものは認めずに」「組合とはいつも二手三手先を考えて活動するものだ」の精神で取り組んでまいります。皆さんはどうぞ「見せてもらおうか、本年度の中央執行部の取り組みとやらを」の姿勢でどっしりと構えて御見守り下さい。うまくいかなかった場合も「坊やだからさ」と流して頂けますと幸いです。

1年間どうぞよろしくお願い致します。

(※「 」内…某有名アニメの人気キャラのセリフより)

「カール5世(の彫像)と2ショット」



副執行委員長 立元 雄治(浜松キャンパス支部)



工学部化学バイオ工学科の立元雄治と申します。思いもかけず(いやばちばち順番が回ってくるかなとは思っていましたが)、今年度、副執行委員長を務めることとなりました。組合員としては、およそ25年と長いのですが、周りの熱心な方々に引っ張られて活動していた感じで、あまり積極的ではありませんでしたので、あらためて組合の取り組む課題を確認しつつ活動していきます。だいぶ前に執行委員になったときには静岡キャンパスで会議に出席していましたが、今はオンライン会議になっています。また、これまで支部委員や執行委員になったときには、独立法人化移行時であったり、前回の学長選挙直後だったり、情報収集などを通して日ごろあまりかわることのなかったことに触れることができました。上述のような情報を調べて提供することも組合としての重要な役割であると認識しています。昨年度の活動方針を見ますと、18項目も挙げられています。多くの方が関係する課題については、なんらかの議論の場が持たれるかと思いますが、一部の方々にのみ関係する課題は目にすることなく進んでいってしまいます。組合活動としてこういった少数の声にも耳をかたむけて課題に取り組んでいくことが大切だとあらためて思いました。どうぞよろしくお願いいたします。



事務局長 戸部 健(人文社会科学部支部)



今年度事務局長をつとめることとなりました人文社会科学部の戸部健と申します。専門は中国近現代史で、特に教育や医療の社会史を研究しています。そのほかに、地域貢献という意味合いから近代における茶貿易の動向について調査したり、本学人文社会科学部・理学部の前身である旧制静岡高等学校の史料を整理したりしています。

静岡大学に赴任してはや17年目となりましたが、その間に教職員の数はどんどん減り、それに反比例して私のやるべき仕事もますます増えております。例えば教育では、かつてはアジア史全体(ユーラシア大陸の東から西まで)の「新しいところ」だけを教えればよかったのですが、今では「古いところから新しいところまで」カバーしなければならなくなっています…。組合員の皆様も多かれ少なかれ同じような状況なのではないかと推察する次第です。

組合の執行委員会メンバーになるのは2017年度以来ですが、少しでも現状を良くするために力を注いでいく所存です。どうか皆様からのお力添えを賜うことができれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



執行委員 黄 月華(人文社会科学部支部)



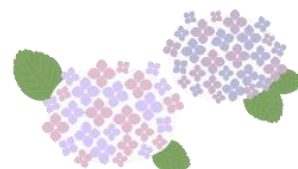
今年度執行委員を務める人文社会科学部経済学科の黄 月華(こう げっか)です。

専門は金融・開発金融・金融政策で、戦後アジア各国の金融システムの形成、比較及び2000年代以降の日本の金融政策を中心に研究しております。本人は中年だと自覚しておりますが、大学では着任2年目のこともあり、まだ若手の枠のようです。幸い本人はパワフルなほうですので、どの枠かにとらわれず、精力的にいろんな仕事へ取り組んでいければと思います。

組合の活動をしようと思ったのは、着任してから子育て支援、年俸制Ⅱ型の適用、ほか教職員の給与・待遇などにおいて、現制度から補完の余地があると判断したからです。わが校のみならず、地方国立大学において財政的に困難な場面になっていることは共通していて、その改善に教職員一同努力しないといけないことは承知しておりますが、働く立場から問題を見つめ労働環境を改善することで、大学の継続可能な将来につながるとも思いました。地道に目の前にある問題から取り組み、教職員の立場を考えて努めて行きたい所存です。何卒よろしくお願いいたします。



執行委員 室伏 春樹(教育学部支部)



今年度の執行委員を務めることになりました教育学支部の室伏春樹です。

本学には2011年に着任して今年度で14年目となります。研究分野は中学校の技術教育で、プログラムで制御する教材用ロボットや水産養殖と水耕栽培を掛け合わせたアクアポニックス、3Dプリンターやレーザーカッターといったデジタル工作機械を利用する教育方法など、社会の変化に応じながら、ものづくりに関する内容を様々な方面から扱っています。

その中でも最近の研究テーマが「見通し」の形成です。ものづくりをはじめ、さまざまな物事に対して主体性を発揮するには見通しが必要です。見通しを形成する最も簡単な方法は同様の経験を積むことですが、変化の激しい時代において何事も経験してから、というように

ゆとりをもって進めていくことは難しくなっています。

組合活動についても同様のことが言えます。私は2019年度に執行委員を務めましたが、当時の先生方についていくのが精一杯で主体性を発揮する見通しを形成するには至りませんでした。ですが、これまでの様々な活動を通して見えてくることも増えてきたと実感している部分もあります。微力ではありますが1年間よろしくお願いいたします。

2025年度第127回定期大会の日程が決まりました
7月31日(木)14:30~16:30
対面とオンラインでの開催を予定しています

お知らせ

2024年度執行委員長の川瀬憲子先生がご逝去されました。
川瀬先生、本当にありがとうございました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

執行委員 藤岡 申明（浜松キャンパス支部）

今年度執行委員を務めます情報学部情報社会学科の藤岡です。

浜松キャンパス支部発足1年目という記念すべき年に執行委員をお引き受けすることになり、緊張と同時に楽しみな気持ちを抱いております。「教職員組合って何の役に立つの？」と聞かれたら「〇〇の役に立つ！」と自信を持って即答できない残念な組合員ではありますが、キャンパスや学部や教職員の壁を越えて、働き方についてあれこれ話したり愚痴を言い合ったりたまに美味しいスイーツを食べながら雑談したりできる場所としての教職員組合を職場に確保することは意義があると考えております。微力ではありますが、静岡大学教職員組合をそのような場所にできるよう尽力して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



日詰学長と「組合三原則」「労働協約」の確認を行いました



伊藤執行委員長と日詰学長（事務局4階学長応接室にて）

6月16日（月）、伊藤執行委員長から日詰学長に「組合三原則」と「労働協約（三通）」をお渡しし、内容の尊重をお願いしました。この三原則の確認は、例年第1回団体交渉の冒頭で行っていたもので、今年度は大学の提案もあり、この時期にとくべつに行いました。

組合からは伊藤執行委員長と戸部事務局長が、大学からは日詰学長、佐藤事務局長、興津総務部次長、藤井職員課長が出席され、日詰学長から組合三原則に配慮することをご確認いただきました。



組合加入はこちらをご提出ください

静岡大学教職員組合加入申込書

静岡大学教職員組合執行委員長 殿

年 月 日

私は静岡大学教職員組合に加入を申し込みます。

氏名	所属	連絡先 E-mail
----	----	---------------

ご意見ご要望などご記入ください。

※必要事項をご記入いただき、「組合事務局」までお送りください。メール等でも申し込みできます。
ご記入いただいた事項は、組合活動情報等の提供、組合費徴収などの事務のため、適切な取り扱いをいたします。